

(仮称)調布市防災・スポーツレクリエーション公園整備事業に関する大規模開発事業における土地利用構想説明会
7月11日10:00～11:45【質疑概要】

No.	質問	回答
1	計画には賛成だが、幼稚園への影響を避けるため、利用者動線は当初説明どおり東側に一本化してほしい。あわせて、南側道路の通行増による交通事故や防犯・治安面への影響を懸念している。	南側道路は中学校生徒の通学で使われているため、堀の整備では歩行者の安全確保と車両流入対策を重視する。また、公園整備後の安全・安心の確保に向け、周辺環境に配慮しながら適切な明るさを確保する。なお、現在的一方通行規制を相互通行に変更する予定はない。
2	大規模事業にもかかわらず予算の記載がなく違和感を覚えた。また、計画はFC東京ありきで進められている印象がある。行政は市民への十分な説明と情報開示を行うべき。	土地取得費を除くかなり大まかな金額として、施設整備費は約100億円で、市負担が3割(30億円)、FC東京負担が7割(70億円)。令和8年度予算には、用地取得費で36億円、設計・整地費等で4億円の計約40億円を計上している。FC東京からは昨年6月に具体的な提案があったが、それ以前から協議を行っていた。また、FC東京以外からの話は、市の利用計画に沿う提案ではなかった。
3	映像には植栽が描かれていたが、森と植栽では樹木量が大きく異なる。イメージ映像によってグリーンインフラが十分確保されるかのような印象操作に感じた。調布市は2050年ゼロカーボンシティを宣言しているが、この規模の森を伐採して増加するCO2排出や吸収量の減少を、どのように補う計画なのか。	自然環境調査結果をHPで公表している。基本設計では、調査結果を踏まえ既存植栽を活用しながら樹木の移設・残置・植樹を検討している。雨水浸透機能は現状と同程度を確保し、樹木は可能な限り保全しつつ計画的に更新する。併せて、CO2吸収量の把握や伐採木の有効活用を検討していく。
4	FC東京に対しても、Jリーグは気候変動アクションに取り組んでいると思うが、その12項目の中に、再生可能エネルギーとか生物多様性やカーボンニュートラルに貢献するようなものも含まれている。そういうものとの整合性はどうか考えているのか。	Jリーグは2026年3月にスポーツポジティブリーグへの参画を決定し、今後の気候変動対策を示していく立場にある。FC東京もホームページで環境問題に対する考え方を示し、クライメートポジティブ方針、資源循環100%方針、ネイチャーポジティブ方針、持続可能な調達方針の4つを掲げている。クラブとしてスポーツやサッカーを通じて何ができるかを考え、これらの方針に基づく取組を進めている。
5	有事の際の対応について、施設の利用などはFC東京よりも市民が優先されると考えてよいのか	留保地に整備する公園は「防災・スポーツレクリエーション公園」としており、防災上も重要な機能を持つ。大型備蓄倉庫を設置するほか、激甚災害時は一時避難場所、外部受援の物資集積エリア等をグラウンド・コート等に設置のうえ、市民等の使用を最優先する。
6	サッカーやイベント開催時は人の往来が非常に多く、天文台通りも渋滞しているが、具体的にどのような対策を検討しているのか。暑熱対策として有効な樹木について、図面に樹木の表示がないが、実際に設置されるのか。南出入口は、前面道路が一方通行であり、混雑時には歩行者であふれて車両の出入りも困難になるため、設置しない方がよい。味の素スタジアムとの境界は、試合終了後も含め出入り可能なのか。	人の流れは複数の出入口で分散し、駐車場は需要に応じて確保するとともに共用部分も活用する。周辺交通への影響は、交通量調査等により大きな影響がないことを確認している。樹木は既存樹木を可能な限り保存するほか、南側出入口についてはご要望として承る。味の素スタジアムとの境界は、自由な往来を認めない方向で協議を進めている。暑熱対策・緑化は資料27・28ページに示しており、既存樹木の保存・移植に加え、新規植樹を含む計画を今後具体化していく。
7	調布市とFC東京の協議内容について、1月公開資料は黒塗りであった。市民に隠す必要はなく、速やかな開示を求める。公共施設としての市民利用の検討内容についても、公開を求める。	FC東京や国、東京都との協議継続中の事項については、確定事項との誤解やそれに伴う市民の認識の混乱、さらには率直な意見交換や協議への影響を避けるため、黒塗りにした資料を公開した。公共性については、市の公園として整備し、FC東京の練習拠点として活用しながら市民利用も確保するほか、大規模災害時にはエリア全体を活用する。
8	整備事業に100億、土地の取得に40億とかなり大きな投資をされるということで、市民へのリターンが必要だと思う。そのリターンについて、市民の健康維持増進にどういう風にコミットしていくのか。	防災・スポーツレクリエーション公園は、防災に加え、スポーツやレクリエーション機能を通じて、市民の健康増進に寄与するものと認識している。FC東京としても地域と連携した健康増進活動を行っており、この地への移転を機に、そうした取組をさらに拡充していきたいと考えている。
9	本日の説明には強い違和感がある。自治会への説明を継続するとともに、本計画はいったん白紙に戻し、市民に分かりやすい形で再検討すべきである。また、条例の趣旨に照らし、地域や住民への弊害をどのように想定し、定量的に把握しているのか。	近隣の皆様には、工事車両の往来や樹木の状況変化に伴う騒音、暑熱、CO ₂ 、生活環境への影響に不安を抱いていると考えている。そのため、整備に関する不安の軽減も目的に御意見を伺っている。今回は土地利用構想の説明であり、今後の開発事業説明会で緑化等の定量的な内容を示す予定である。今後も条例に基づく説明会を実施する。
10	資料の1番最初に本説明会は、調布市ほっとするふるさとをはぐむ街づくり条例に基づき開催しますと書かれているが、この条例とは何なのか教えてほしい。	「調布市ほっとするふるさとをはぐむ街づくり条例」のこと。主に、良好な開発事業への誘導のための手続や住民発意の街づくりに関する事項を規定している。

(仮称)調布市防災・スポーツレクリエーション公園整備事業に関する大規模開発事業における土地利用構想説明会
7月11日10:00～11:45【質疑概要】

No.	質問	回答
11	皆さん仕事を持っているため、意見書の提出期限の延長をお願いしたい。また、私どもの意見書に関する説明会を再度開催していただきたい。市民の意見を十分に聞いていただき、本当に良いものとなるようお願いする。	今回の意見書の提出期限は、予定どおり今月23日までとする。今後、条例に基づく開発事業説明会を実施し、その際にも意見を伺う。